

過疎地における まちづくりの

トレンド

参加費
無料

交流会は別途

を
語り合う



主催 愛媛県
事業受託 (公財) えひめ地域活力創造センター

こんなお悩みにアプローチ!

- ✓ 地域の人を巻き込むために
どうしたらいいの?
- ✓ 地域の担い手を
どうやってさがそうか?
- ✓ 地域がよるこぶ儲け方とは?

フロンランナー



山内 大輔 内子晴れオーナー
元内子町地域おこし協力隊

2014年に神奈川県から移住。地域おこし協力隊を経て、2017年に「古民家ゲストハウス&バー 内子晴れ」をオープン。2024年からは国の登録有形文化財「旭館」を借り受けて様々なイベントを定期的に開催し、まちに開かれた場所づくりを目指し活動している。



周藤 功治 西予市職員
横林自治振興協議会メンバー

2001年に旧野村町役場に入庁。合併後の西予市で農林水産課などを歴任後、横林地域づくり活動センターに所属。多様な人脈を生かしてまちづくりを推進し、2024年には農村RMO「横林カスタマイズ」の設立を担当。現在は地域担当職員として横林のまちづくりに尽力している。

講師・ファシリテーター

鍋島 悠弥

総務省地域力創造アドバイザー
愛媛県集落支援員

「地域の主体性」をどう育むか。過疎地で活動をするには、ヒト・モノ・カネ、そして「トキ（時間）」の視点が欠かせません。この「トキ」とは、地道な信頼関係を築く時間であり、小さな成功を積み重ね、活動を「我がコト」にしていくプロセスです。お2人の事例を交えながらこの4つの資源を見つめ直し、地域の活力を未来につなぐ「次の一手」を一緒に見つけましょう!

内容

地域経営に欠かせない「ヒト」「モノ」「カネ」に、維持・継続に必要な視点として「トキ」を加え、事例紹介やこれからのあり方についてのお話をうかがいながら、ワークショップを通じて、次の一手をそれぞれが考える機会とします。

開催場所

古民家ゲストハウス&バー
内子晴れ (内子町内子3025)

日時

11/20 (木) 講座&ワークショップ
15:00 ▶ 17:00

交流会 (自由参加)

17:00 ▶ 19:00

講師陣や参加者と自由に交流いただけます。
交流会参加費 3,000円程度 (当日徴収)

定員

先着 10名 締切: 11/10まで
(定員になり次第募集終了)

お申込はこちら



<https://logoform.jp/form/XG6n/1272189>

